

東 境 防 災 だ よ り

東境自主防災会

1. 令和8年度 第10回自主防災会・自治会合同組長・班長模擬訓練

5月24日(日) 8:30受付、9:00～開始…富士松東小学校 体育館 (参加者総数約111名)

1) 目 的 災害発生時に組長・班長は、どう行動するのか、震度6強の地震発生状況を想定し、一連の行動を模擬訓練し、行動手順を確認する

*初動＝自宅のライフライン(電気・ガスの元栓・水道OFF)確認

【班長の行動】 ①近隣住民と協力し、救出救護や消火活動を行う
②組長へ災害状況(班住民の安否・家屋被害等を確認)の連絡
③組長からの情報を班住民に伝達



【組長の行動】 ①近隣住民と協力し、救出救護や消火活動を行う ②要配慮者の安否状況確認
③各班長からの災害状況を用紙に整理し、本部に無線で連絡
④本部からの情報(避難所・ライフライン復旧等)を班長を通して組内に伝達

《進め方》 1)訓練の概要説明…プロジェクターにて模擬訓練全体の流れを説明

2)模範演技…自主防災会メンバーによる行動の模範演技

3)一斉訓練…A～Lの12組がチームに分かれて組・班長の行動訓練

4)本部への無線連絡…組長が被害報告書作成と災害対策本部連絡

2)訓練風景



各チーム組長・班長の行動訓練



組長・班長さん、お疲れ様でした。もしもの時の行動と助け合いが重要です。訓練を活かしましょう。

2. 地震災害の「備え」

[防災庁マニュアルより]

災害への備えは、特別なことではありません。
いつもの暮らしの中での少しの準備、家庭での
決めごと、地域での助け合い、そして職場や学
校での備えといった日々の取り組みが、いざと
いう時にあなたと周りの人々の命を守る大きな
力になります。



家族で事前に決めておくこと

集合場所や非常持ち出し品の置き場



【集合場所】

いろいろな災害、発生時間などを想定し、優先順位をつけて、3箇
所を決める。家族がばらばらにならないように、全員が待ち合わ
せの場所（避難場所）を確認して、連絡手段を複数持つ。避難所
の伝言板で家族を探すため、家族の顔写真を用意しておく。

身近な避難場所を知っておこう

自宅及び、学校や町に居る時などの避難場所



自宅だけでなく、会社で工作中、商店街にいる時など、よくいる
場所の近くの避難場所と安全なルートを確認しておく。

近隣との日頃の交流・訓練

日頃から災害の際の助け合いを意識して、住民同士の交流



けが人の搬送、高齢者に代わっての買い物・物資運搬、帰宅困難
による留守家庭のこどもの世話等。
日頃から災害の際の助け合いを意識し住民同士の交流をする。防
災訓練にも積極的に参加する。

近隣の要配慮者を把握



災害時には近隣の住民同士の協力が必要。日頃からあいさつを交
わして、ご近所との付き合いの輪を広げておく。
また、要配慮者（高齢者や障がいのある人、乳幼児、妊婦、外国
人など）は情報把握、避難などが迅速にできない可能性も。こう
した人々が近所にいるかを日頃から把握して、いざという時は民
生委員などと協力して要配慮者を支援する。

防災だよりは地区広報掲示板、及びWebで東境自治会を検索し、
東境自治会いきいき町作りから自主防災会をクリック、
または右のQRコード読み取りでも閲覧できます。

※質問があれば東境自主防災会まで…

